

保護者・ご家族の
皆さまへ



きやっちボール

県立あわじ特別支援学校 相談支援部発行
第32号 令和6年12月24日発行

今年も残すところあとわずかとなりました。2学期も日々の学習活動やたくさん
の行事を通して、成長を見せてくれました。保護者の皆様には多くのご協力を
いただき、感謝申し上げます。寒さも厳しくなってきましたので、体調に気を付け
ていただき、有意義な冬休みをお過ごしください。

外部専門講師を迎えて

今年度は専門的知識・技能をもっている方、特別支援教育における豊かな指
導経験を有する方を講師としてお招きし、各学部学年で授業を行っていただい
ています。リトミック・ヨガ・臨床美術など、普段あまりできない体験をすること
ができ、児童生徒たちの新たな一面を発見することもありました。今回は、実施した
授業を一部ご紹介いたします。

ヨガ

中学部・高等部は、ヨガに挑戦しました。指導していただいた Mitsuki(みつ
き)先生は、「楽しく身体を動かしながら、自分で考える力を育み、小さな“でき
た!”を積み重ねることで自信や自己肯定感を高める」というオリジナル



良いお年を
お迎え下さい

program でヨガを指導されています。いろいろなヨガのポーズを模倣しながら
ゆったりと身体を伸ばし、身体も心もリフレッシュできたのではないのでしょうか。



リトミック



小学部・中学部は、國芳先生にリトミックの授業をしていただきました。リトミ
ックとは、音楽や音に触れ合いながら、自由に体を動かして楽しむ活動です。小学
部では、タンバリンをハンドルにして運転手になったり、王冠として頭にのせて王
様になったりして、曲に合わせて変身を楽しみました。中学部では、ペアやグル
ープで友だちと触れ合いながら、音楽の楽しさを味わうことができました。



臨床美術



臨床美術とは、アート作品を楽しみながら作ることによって脳を活性化させ、高齢者の介護予防や認知症の予防・症状改善、働く人のストレス緩和、子どもの感性教育などに効果が期待できる、芸術療法（アートセラピー）のひとつです。講師として来ていただいた保宗先生は、上手下手の観点ではなく、「自分らしさと意欲の向上」を目指して、のびのび自由に楽しめるプログラムを用意してくださいました。今回小学部では、オイルパステルを使ったいろいろな技法を練習した後、自由に描いて個性的な作品を完成させました。



タッチセラピー



作業療法士の尾野先生にタッチセラピーを行っていただきました。タッチセラピーとは、手を使って体全体を優しく触れることで、ストレスを軽減する方法のことです。自分の体の部位を確かめながら優しく触ったり、タオルなどを使って体を動かしたりしながら、癒しの時間を過ごすことができました。



福祉制度説明会

10月17日(木)、福祉制度説明会が開催されました。福祉サービスの利用や卒業後のスムーズな移行に向けて、福祉制度について情報提供を毎年行っています。今年度は、「障害者総合支援法と淡路圏域の障害福祉サービスについて」と題して、淡路市健康福祉部の方を招いてご講演いただきました。障害福祉サービスの種類、利用までの流れ、利用時の費用等、わかりやすく紹介していただき、必要な支援を適切に受けるための方法を知るよい機会となりました。

選挙出前授業



12月17日(火)、高等部で選挙出前授業が行われました。2016年に選挙権の年齢が18歳以上となり、本校でも在学中に選挙が実施されると投票に行くこととなります。選挙の仕組みや重要性について学び、投票という行動につなげて行けたらと考えています。出前授業では、選挙管理委員会の方から選挙の現状や投票の仕方を学び、実際に模擬投票を体験しました。

